

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第3巻第9号

第9週(2月24日～3月2日)

発行年月日:平成15年(2003年)3月10日

発行:滋賀県立衛生環境センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

### 1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (9週)	累積報告数		平成14年報告数	
			滋賀 (9週)	全国 (9週)	滋賀	全国
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	0	90	6	693
	パラチフス	0	0	5	1	33
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	77	14	3132
4類感染症	アメーバ赤痢	0	1	81	6	453
	エキノкокクス症	0	0	2	1	9
	急性ウイルス性肝炎	0	0	141	2	915
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	21	2	146
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	17	1	90
	後天性免疫不全症候群	0	2	128	6	888
	梅毒	0	1	74	4	561
	レジオネラ症	0	0	28	1	166

\* 平成14年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

### 2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								前週との比較(定点当たり患者数)
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	13.51	13.73	23.00	9.43	9.88	7.71	15.57	9.00	
咽頭結膜熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
A群溶連菌咽頭炎	0.34	0.14	0.83	0	0.20	0.75	0	0.50	
感染性胃腸炎	4.69	5.86	9.67	2.50	2.00	4.25	0.25	6.50	
水痘	1.34	0.86	1.50	1.25	2.00	2.50	0.75	0	
手足口病	0.09	0	0.33	0	0.20	0	0	0	
伝染性紅斑	0.13	0	0.33	0	0	0.25	0.25	0	
突発性発疹	0.25	0.29	0.33	0.25	0	0.50	0.25	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風疹	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	
麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎	0.41	0.14	0	0	0.60	0	1.25	2.00	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.43	0	1.00	0	1.00	0	0	1.00	
急性脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	1.00	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0	
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	

全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

0 5 10 15 20  
定点当たり患者数

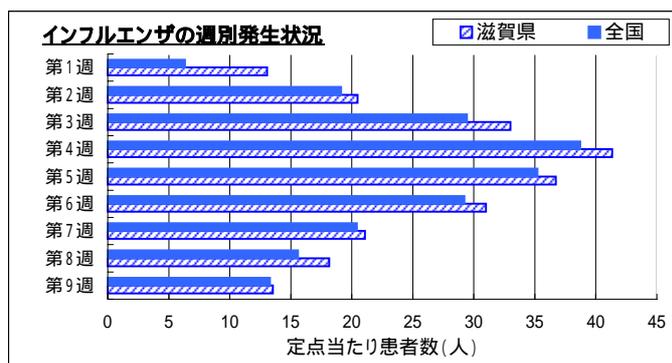
### 3) 今週のトピックス

#### 感染性胃腸炎の定点当たり患者数は増加傾向 インフルエンザの発生状況(全国)

定点把握の対象となる4類感染症の発生状況を先週と比較すると、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、流行性角結膜炎等の定点当たり患者数が増加しています。また、インフルエンザ、突発性発疹等の定点当たり患者数は減少しています。

**インフルエンザ**については、定点当たり患者数が13.51となり5週間連続して減少し、流行のピークは過ぎたと考えられますが、草津保健所管内の定点当たり患者数は23.00で引き続き多い状態となっています。また、インフルエンザの発生状況(全国)は下記のグラフのとおりです。

**感染性胃腸炎**については、大津、草津および今津保健所管内の定点当たり患者数が多くなっているため、今後の発生状況に注意が必要です。

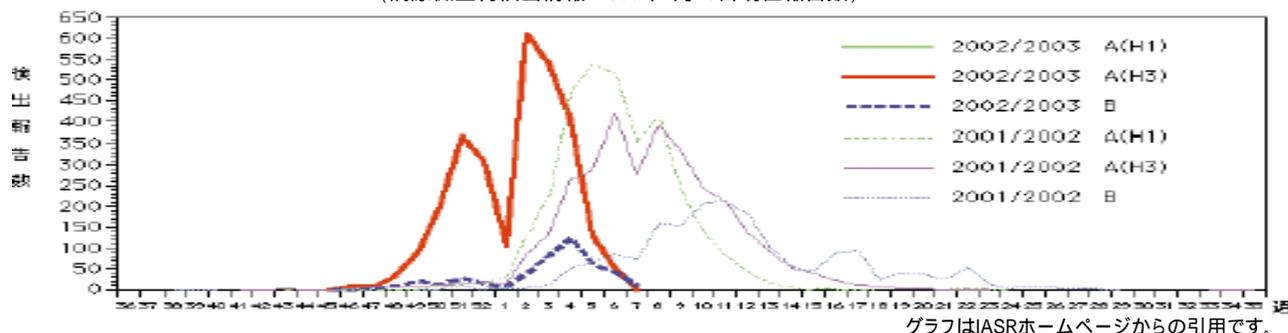


インフルエンザの定点当たり患者数は、全国・滋賀県ともに第4週以後は減少していますが、岩手県、秋田県、山形県では第9週の定点当たり患者数が30を超えています。

また、全国で分離されたインフルエンザウイルスの大半はA香港型(H3N2)ですが、B型の分離も報告されています。しかし、Aソ連型(H1N1)については、今シーズンの分離の報告はありません。

#### 週別型別インフルエンザウイルス分離・検出報告数の推移、2002/2003シーズン

(病原微生物検出情報：2003年2月23日現在報告数)

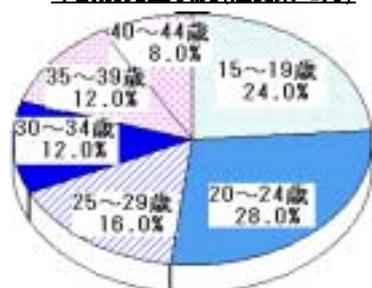


### 4) 性感染症・基幹定点における疾病別発生状況

性感染症・基幹定点における疾病別発生状況を先月と比較すると、性器クラミジア感染症の増加が顕著です。また、淋菌感染症の定点当たり患者数については、先月より減少していますが昨年の同時期と比較するとかなり増加しています。MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)感染症については、先月および昨年の同時期より定点当たり患者数が減少しています(性感染症・基幹定点における疾病別発生状況のグラフ参照)。

性器クラミジア感染症の年齢別発生状況(滋賀県・2月)および性感染症の定点当たり報告数(全国・1月)/過去3年間との比(log)は下記のグラフのとおりです。

#### 性器クラミジア感染症の年齢別発生状況(滋賀県・2月)



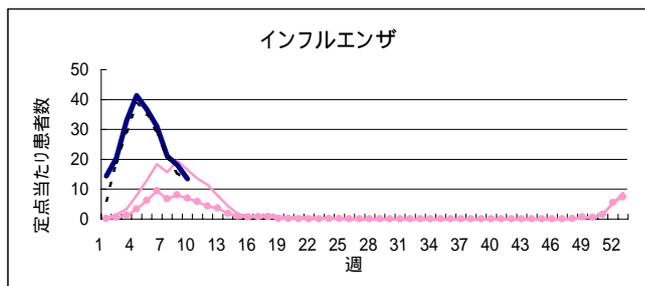
#### 性感染症の定点当たり報告数(全国・1月)/過去3年間との比(log)



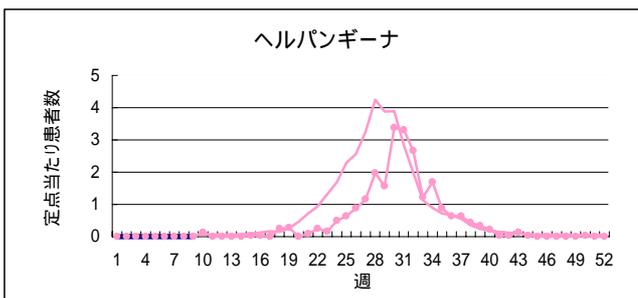
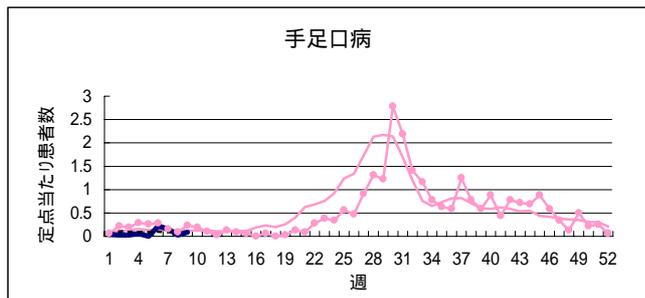
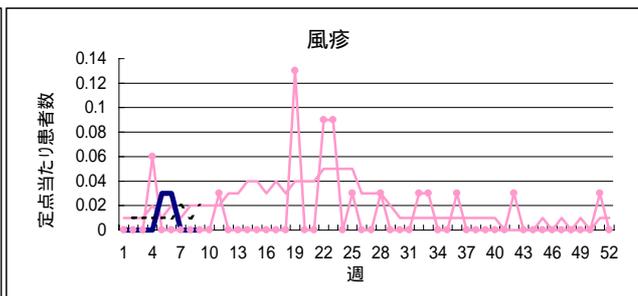
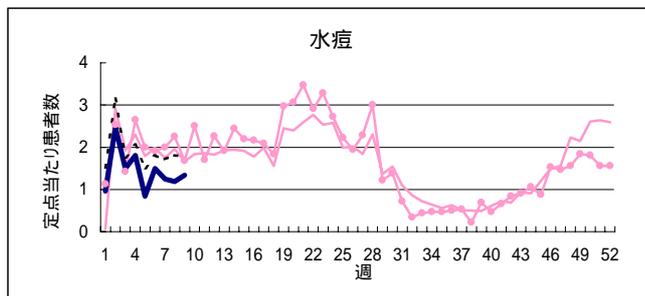
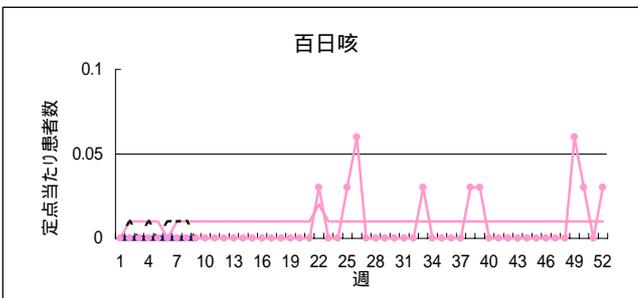
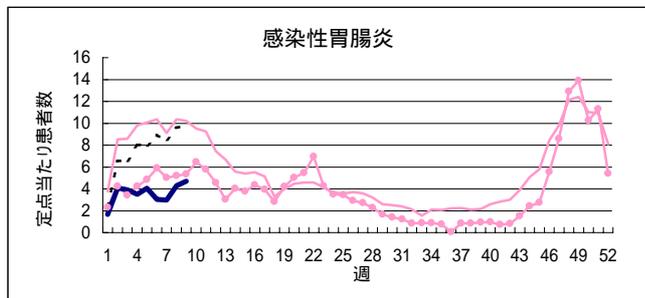
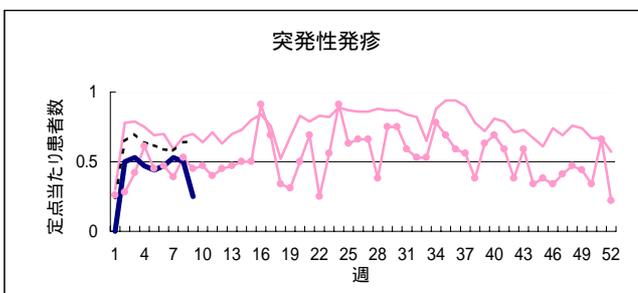
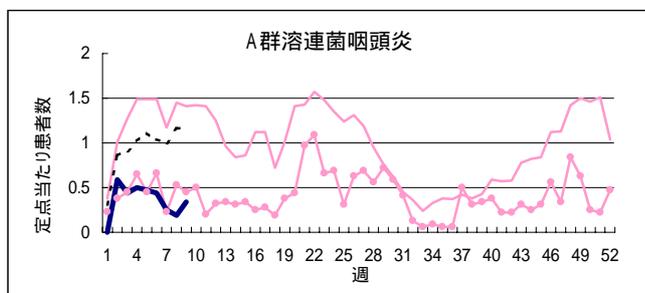
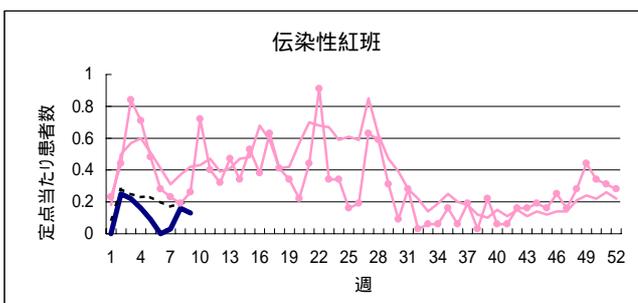
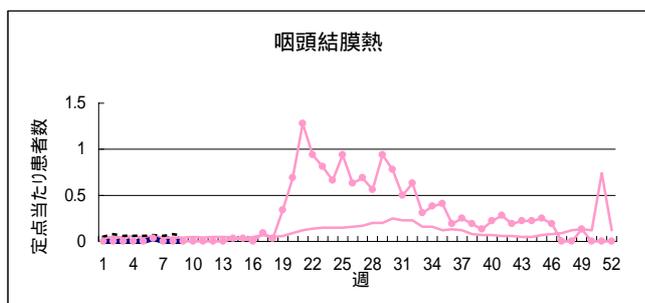
当該月と過去3年間の平均(過去3年間の前月、当該月、後月の合計9カ月の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合「黄色」で、2標準偏差を超えた場合「赤色」で色分けしている。

グラフはiDWRホームページからの引用です。

# 疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第9週)

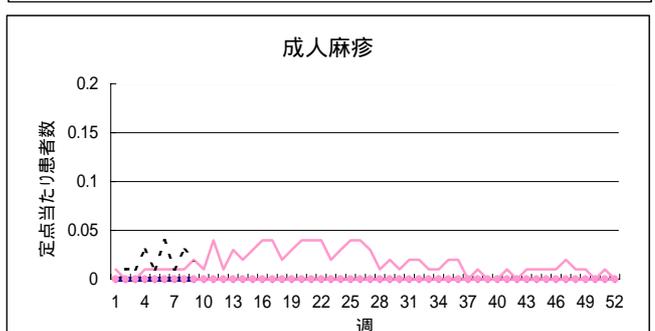
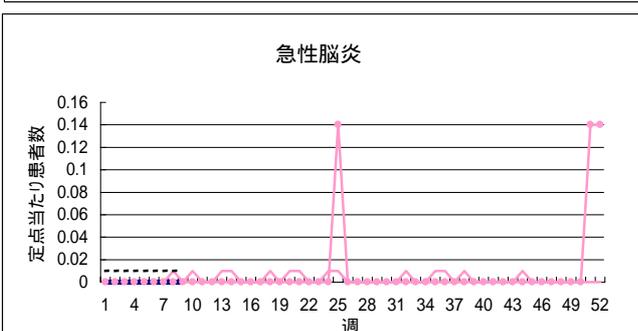
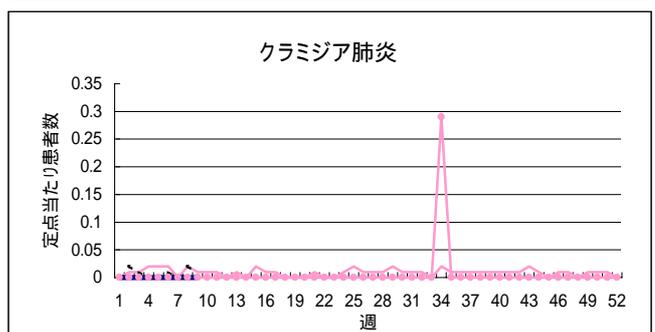
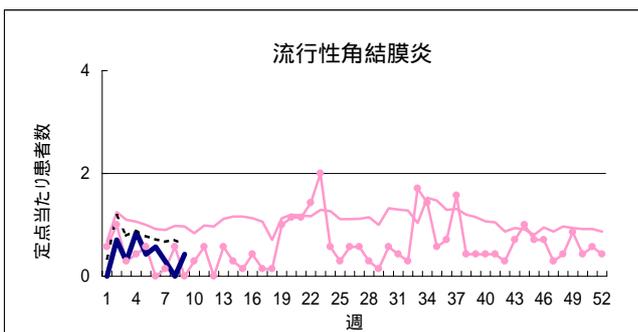
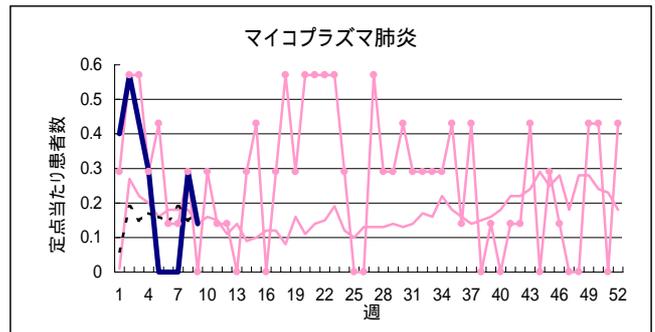
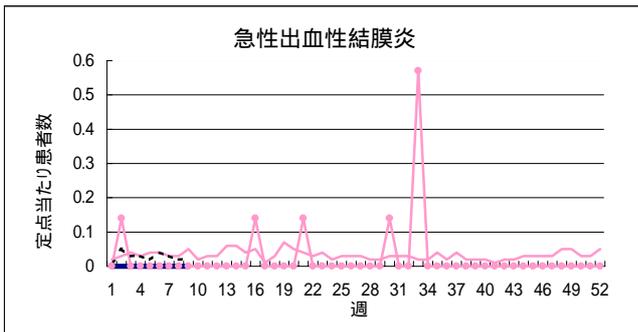
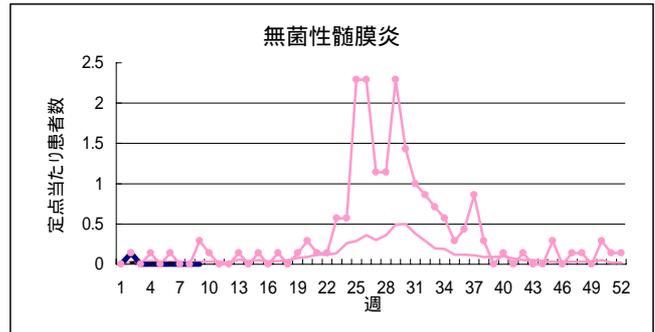
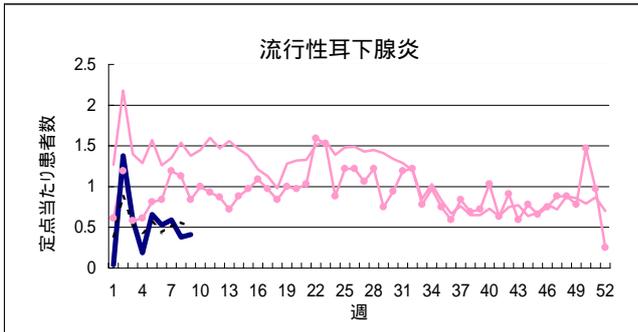
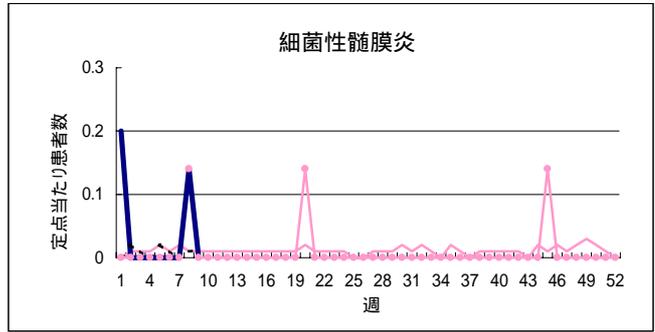
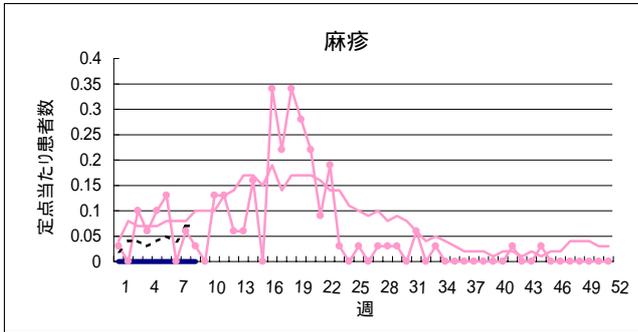


H14 〔 滋賀 ●——●  
 全国 - - - - -  
 H15 〔 滋賀 ————  
 全国 .....



# 疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第9週)

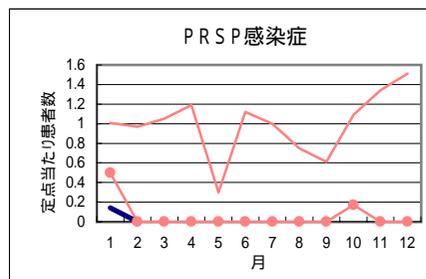
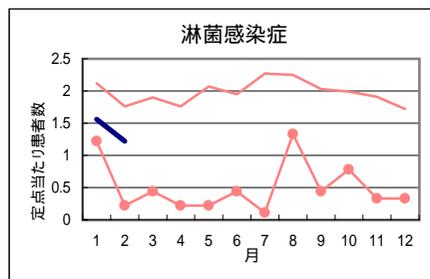
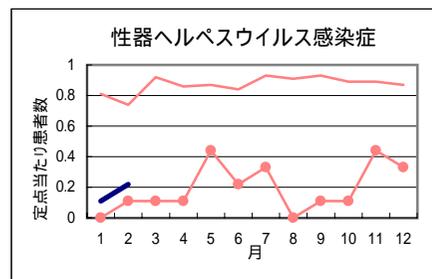
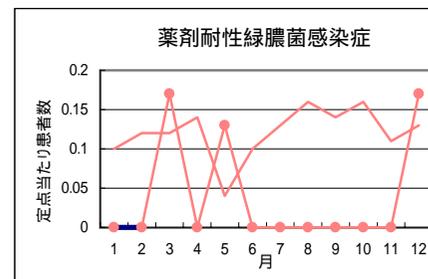
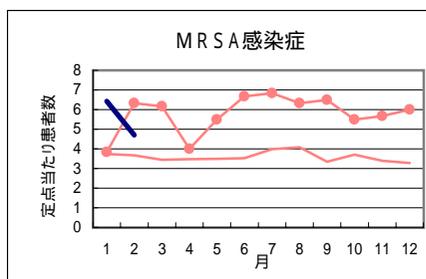
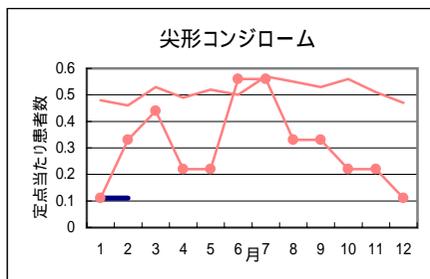
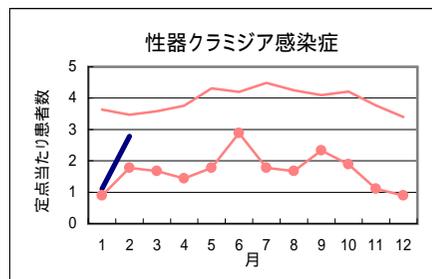
H14 〔 滋賀 ●●●●●● 全国 ○○○○○○ 〕  
 H15 〔 滋賀 ———— 全国 - - - - - 〕



# 性感染症・基幹定点における疾病別発生状況(滋賀県)

## 2月報 (集計期間:平成15年1月～2月)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
性器クラミジア感染症	罹患数	10	25											35
	定点当たり	1.11	2.78											1.95
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	1	2											3
	定点当たり	0.11	0.22											0.17
尖形コンジローム	罹患数	1	1											2
	定点当たり	0.11	0.11											0.11
淋菌感染症	罹患数	14	11											25
	定点当たり	1.56	1.22											1.39
MRSA感染症	罹患数	45	33											78
	定点当たり	6.43	4.71											5.57
PRSP感染症	罹患数	1	0											1
	定点当たり	0.14	0											0.07
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	0											0
	定点当たり	0	0											0



H14 { 滋賀 ●●●●●  
 全国 ————  
 H15 { 滋賀 ————  
 全国 ●●●●●

MRSA感染症:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌  
 PRSP感染症:ペニシリン耐性肺炎球菌